小型船舶用膨脹式救命胴衣の保守・点検マニュアル

はじめに

この「小型船舶用膨脹式救命胴衣の保守・点検マニュアル」には、小型船舶用膨脹式救命胴衣（小型船舶用救命胴衣の要件に適合した作業用救命衣を含む。以下「膨脹式救命胴衣」という。）の基本的な保守・点検方法について記載しています。

この他にもメーカーが各型式毎に定めた詳細な保守・点検方法がありますので、保守・点検を行う際には必ず「メーカーの取扱説明書」と併せてご確認下さい。

また、異常が発見された場合は、着用せずにメーカー等にご相談下さい。

１．膨脹式救命胴衣の種類・構造等について

（１）膨脹式救命胴衣の種類及び各部の名称について



①：気室　②：充気装置　③：作動索　④：補助送気管　⑤：再帰反射材　⑥：笛

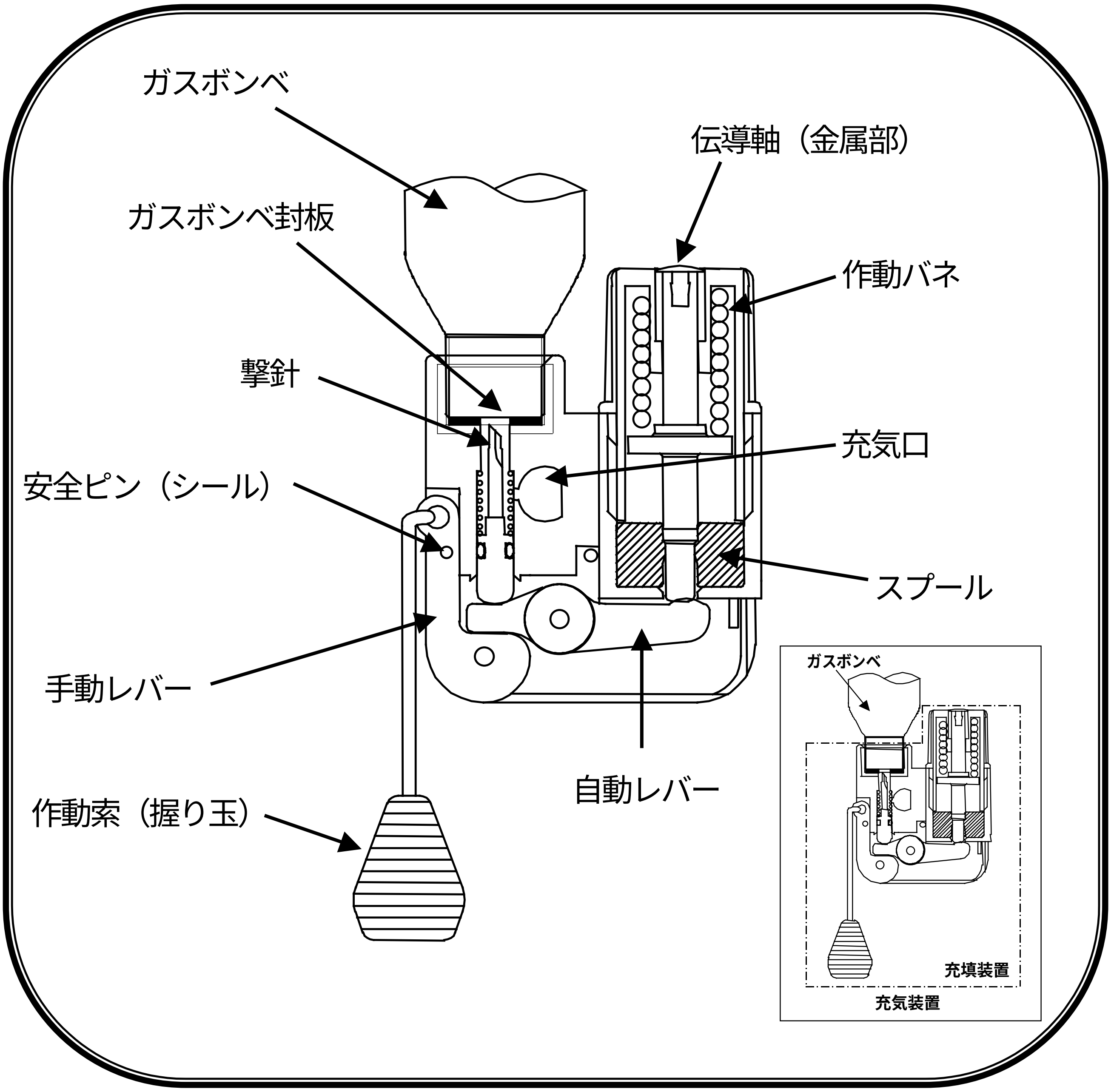
（2）膨脹方式について

膨脹式救命胴衣には、「自動膨脹型」と「手動膨脹型」の 2 種類があります。

1）自動膨脹型

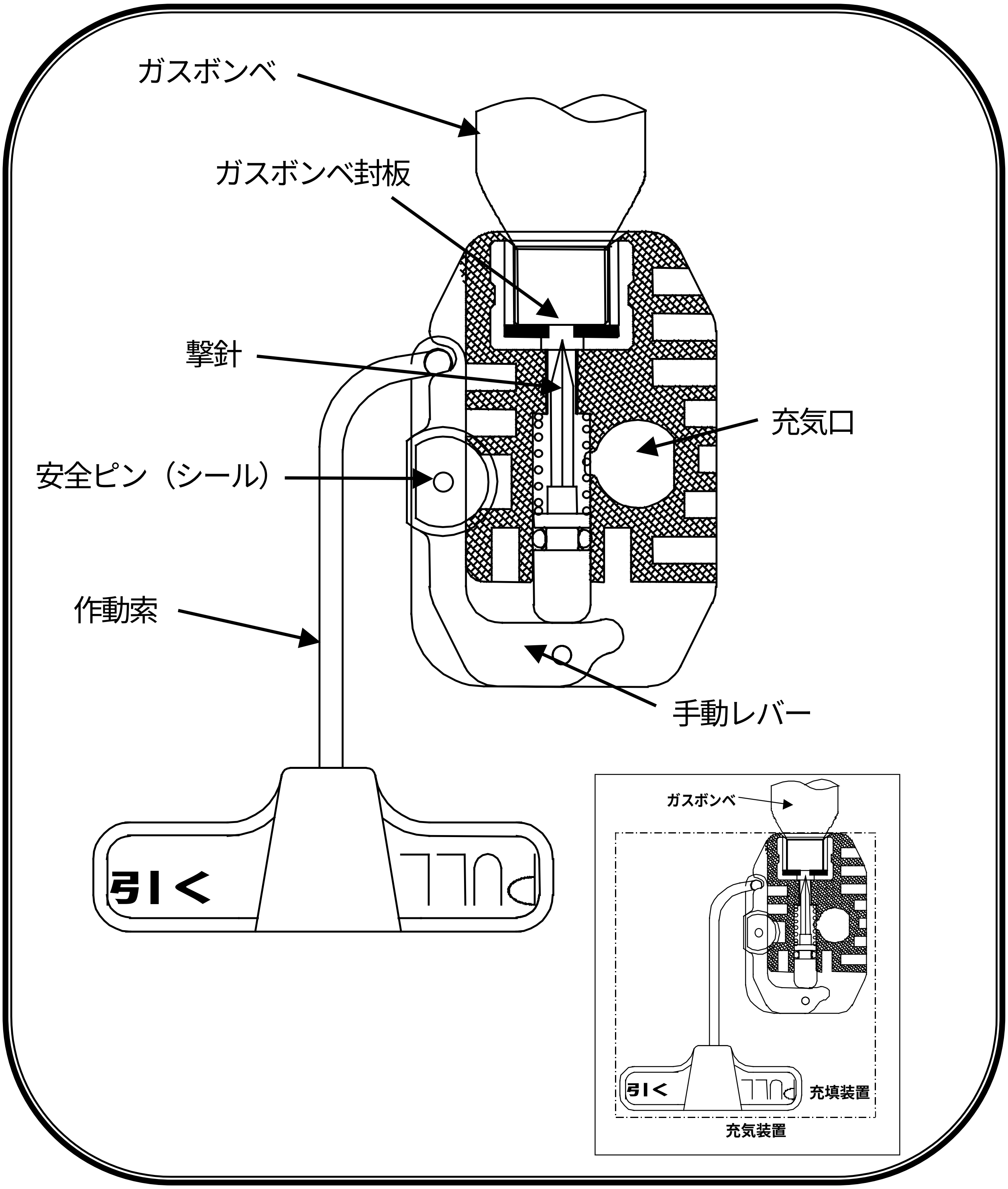
水中に落水すると、胴衣本体に備え付けられている「充気装置」内のスプールが溶解し自動レバーが作動、撃針がガスボンベの封板を破ることにより気室内に炭酸ガスを噴射し、膨脹させます。

また、充気装置の作動索を引くと手動でも膨脹させることができます。



2）手動膨脹型

胴衣本体に備え付けられている「充気装置」の作動索を引くことで、手動レバーが作動、撃針がガスボンベの封板を破ることにより炭酸ガスを気室内に噴射し膨脹させます。

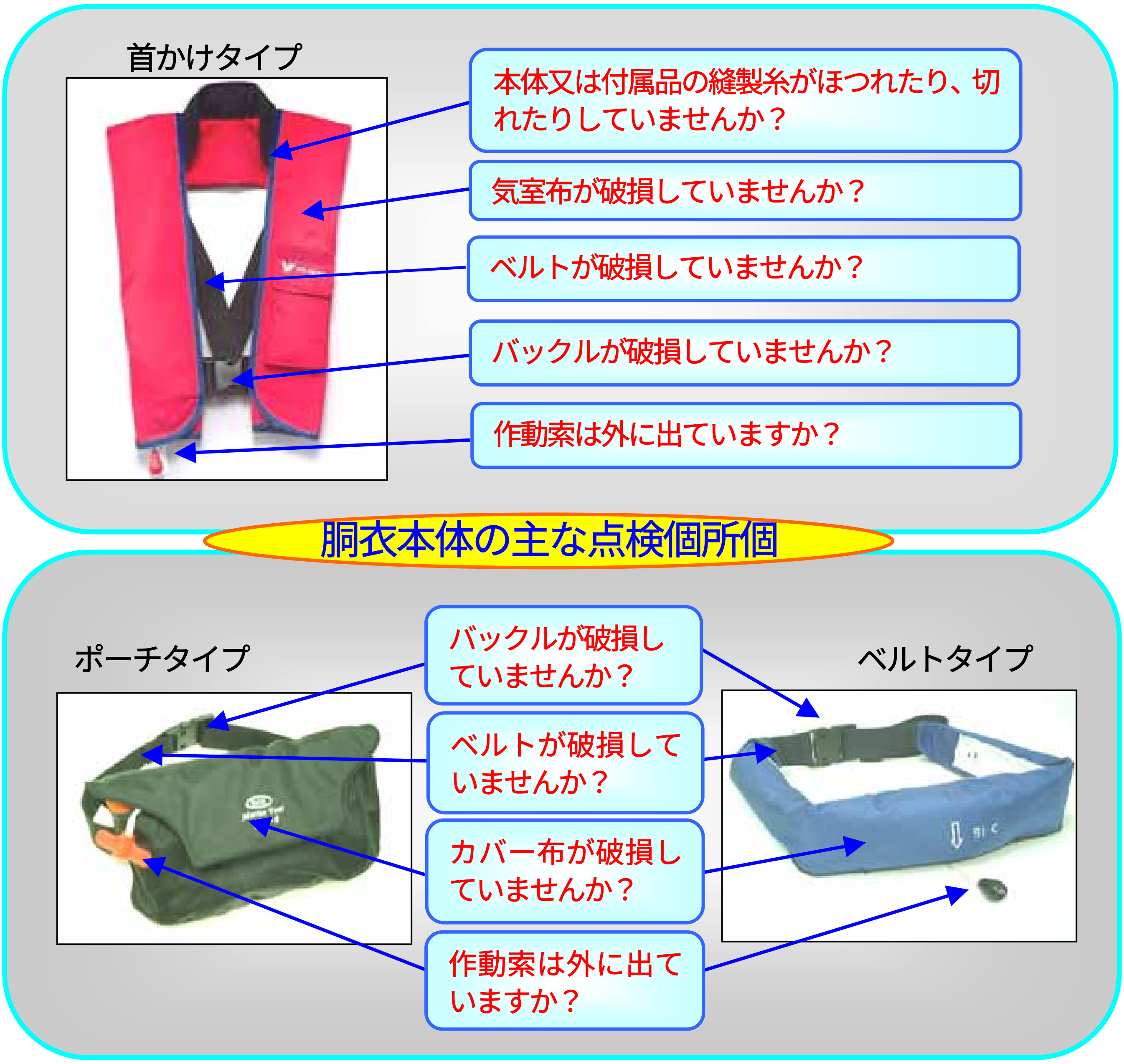


2．膨脹式救命胴衣の保守・点検等について

メーカーの取扱説明書に従って「定期点検」を必ず実施し、さらに次のような点に注意し日常点検を心がけましょう。

（1）着用前の注意事項

着用前に点検を行い異常がある場合は、絶対に着用しないで下さい。詳細につきましては、メーカーの取扱説明書をご覧下さい。



作動索を絶対に膨脹式救命胴衣本体内部に格納しないで下さい。

自動充気装置の主な点検個所

ガスボンベ

ボンベが確実に取りつけられていますか？

一度使用したガスボンベは再使用できません。

ガスボンベ封板

ガスボンベの封板が破れていませんか？



作動前



作動後

金属部

金属部が指で触れますか？

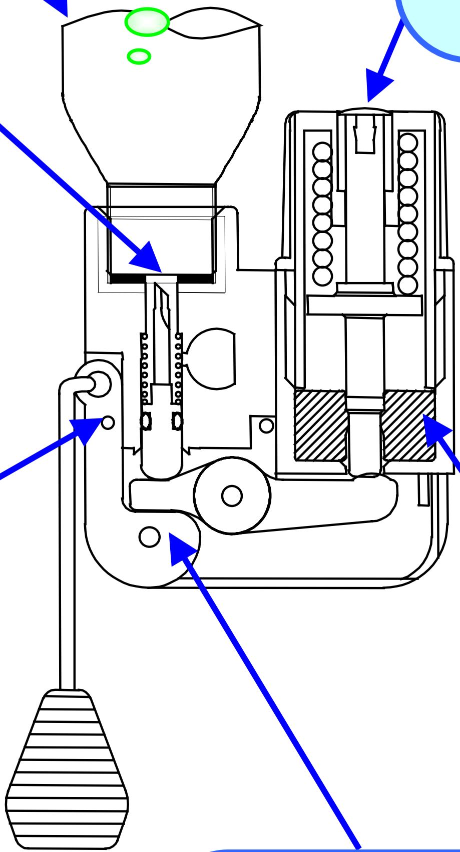


作動前



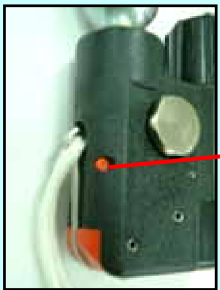
作動後

指で触れないくらい中に入っている場合は充填装置が作動しています。



安全ピン（シール）

安全ピン（シール）はついていますか？



作動前



作動後



スプール

交換時期は過ぎていませんか？



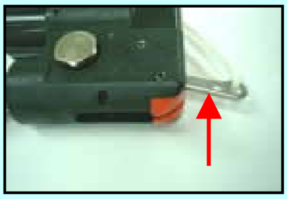
スプール

手動レバー

手動レバーが正しい位置にありますか？



作動前



作動後

手動充気装置の主な点検個所

一度使用したガスボンベは再使用できません。

ガスボンベ

ボンベが確実に取りつけられていますか？

ガスボンベ封板

ガスボンベの封板が破れていませんか？



作動前



作動後

安全ピン（シール）

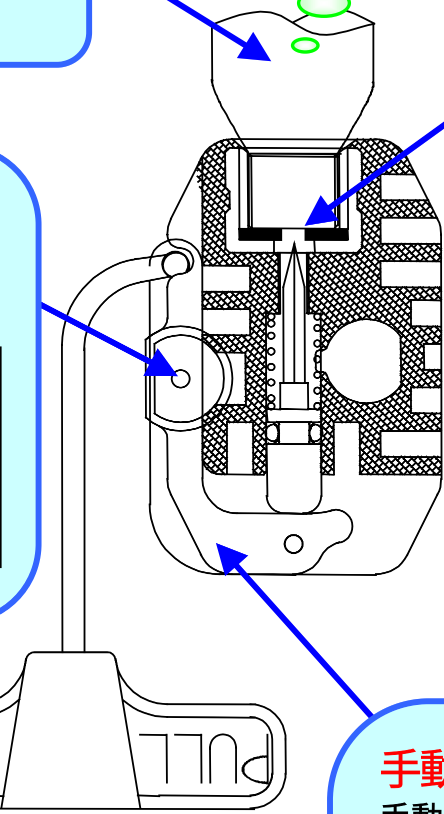
安全ピン（シール）はついていますか？



作動前



作動後



手動レバー

手動レバーが正しい位置にありますか？



作動前



作動後

（2）交換が必要な場合

1）胴衣本体

膨張式救命胴衣本体に下記事項が該当する場合は、新品に交換して下さい。

詳細につきましては、メーカーの取扱説明書をご覧下さい。

・気室布及びカバー布が破損しているとき。

・補助送気管が破損しているとき

・胴衣本体又は付属品の縫製部がホツレたり、切れたとき

・ベルト及びバックル等が破損しているとき

・胴衣本体の色が退色しているとき

・油汚れでコーションラベル（注意書き）の表示が見えなくなったとき



コーションラベル（注意書き）

2）充気装置

下記の事項に該当する場合は、必ずメーカーの取扱説明書に従って各部の交換を行って下さい。

充気装置により胴衣を膨張させた時	⇒ スプール（自動膨張型のみ）、ガスボンベ等の交換
ガスボンベの封板が破れている時	⇒ ガスボンベの交換
交換時期が過ぎた時	⇒ スプール等の交換

注意！　スプールは経年劣化により充填装置の作動時間が長くなるため、定期的に交換して下さい。（環境条件によっては、さらに劣化の進行が早くなります。）

（3）保管上の注意事項について

１）長時間直射日光が当たる場所、高温多湿及び海水、雨水の浸入しやすい場所には保管しないで下さい。保管場所に浸入した水分及び湿気等により自動充気装置が作動し、気室を膨脹させる恐れがあります。

２）膨脹式救命胴衣の上に重い物を置いた状態で、保管しないで下さい。気室布へ傷が付いたり、充気装置が破損する恐れがあります。

３）ねずみの害のある場所は避けて下さい。

（4）その他の注意事項

☆気室布には絶対にエンブレム等を縫いつけないで！

膨脹時に縫合部よりガス漏れを起こし、使用不能の状態になります。

☆雨天時には注意！

膨脹式救命胴衣は多少の雨では作動しないように設計されていますが、雨脚が強いときには、胴衣内部に浸入した水分により自動充気装置が作動し、気室を膨脹させる恐れがありますので注意して下さい。

☆折りたたみ方は正確に！

自動充気装置の作動の遅れや気室布等に傷が発生する恐れがありますので、点検等で胴衣本体を取出した後は、メーカーの取扱説明書に従って折りたたんで下さい。

☆膨脹した後は？

膨脹式救命胴衣を膨脹させ使用した後は、気室内部のガスを補助送気管より完全に抜いて下さい。（充気装置により膨脹させた場合は、スプール、ガスボンベ等の交換も忘れずに！）